

行仙宿・巡回整備作業他

◇ 実施日 平成26年09月21日(日)～23日(火) 快晴

◇ 参加者 生熊夫妻、他2名(石橋夫妻)；21日～22日

青木宏充、他2名(速渡氏親子)；22日～23日

沖崎吉信、川島 功；23日、速渡氏送迎：山上。

計6名、他4名の総計10名。

生熊夫妻は、友達の石橋夫妻と昼過ぎに上り行仙宿に宿泊。翌日、石橋夫妻を笠捨山へ案内すると共に毛布たたみ直し整理、便所掃除、宿内清掃・倉庫内整理等を実施し昼食後下山すると、青木氏と13時過ぎに林道で偶然遭遇したとの事。

青木氏は、お盆に和佐又山く行仙宿へ縦走時、伊賀敷・次女ご家族及び笠捨山山頂の道祖神修復で宿泊の速渡氏親子(三男)と行仙宿で同宿され交友が始まる。北部から南部への変更連絡があり、速渡氏親子(長男)は、山上さんに本宮迄送って貰い、玉置神社で一泊し、行仙宿で青木氏と合流し友好を深められた。

新宮を7時15分に発ち、9時前に林道口に行くと、速渡氏を迎えに来られ山上(速渡車)さんと青木車とすれ違う。行仙宿で会うつもりであったが、速渡氏は長野県売木村へ帰郷の為、早目の下山になった様です。来春五月、再会を約して握手で別れる。

沖崎氏は砂1袋と平治宿で不要になった煙突2本、川島は吉開師寄贈のお茶半箱と混合燃料用オイル1リットルを荷上げする。

オイルとガソリンを混合して、混合燃料1リットル2本調製する。一般、伊賀敷氏から行者堂の外壁トタンが浮いているとの情報

を得ていたので点検すると、右角のトタン押えアングルの釘が抜けており、スクリュー釘で打ち止める。又、ロケット・ストーブの煙突は、担ぎ上げた煙突2本に約30cm煙突を延長し取替再調整する。その後、管理棟内の床隅に置かれていた表彰額(世界遺産登録5周年・和歌山県知事の感謝状、金峯山寺・五條順教氏の感謝状)を時計の右上板壁に掲示する。

沖崎氏は、食材等の在庫調査・整理及び行者堂内のシキビ取替と清掃、薪置場の整理・志納金の回収(約7万4千円)をされた。

行者堂には、新たに東南院、不動寺のお布施があげられていた。お湯を沸かしオニオンスープを作り二人だけの昼食。

昼食後、沖崎氏は、チェンソーで薪作り。川島は、西側の椎茸ホダ木置場が潰れており補修する。

チェンソーが全く切れないとの事から作業を中止する。

空プロパンガスボンベとチェンソーの刃取替・点検に担ぎ下す。北山村走行中、村吉氏から玉岡宅で奈良新聞木之下記者と取材を終え帰宅する旨の連絡が沖崎氏にある。行仙宿の作業を終え帰宅中で、後日非常食の在庫調査結果をFAXする旨を返答。

連絡事項

カナウナギトンネル900m手前でH27年1月末迄。白谷トンネル内は、9/27～10/17迄の間は、時間帯通行制限されます。

通行可能時間帯は、いずれも17:00～8:30、10:00～10:30、12:00～13:00、15:00～15:30です。

行動タイム 9月23日(火) 天候：快晴。昼気温21℃。

新宮 7:15→9:05 登山口 9:15→9:55 行仙宿(12:00 昼食 12:50)13:40→14:10 登山口 14:15→15:50 新宮。(記 川島)